

日本の溜池 I

—「ため池百選」めぐり—

南 埜 猛

キーワード：溜池，ため池百選，地域資源，持続的な発展，日本

1. はじめに

農林水産省の統計によれば、日本には 21 万の溜池が全国に分布している（農林水産省，2002）。古事記や日本書紀にも溜池築造の記述がなされており、溜池の歴史は古い。日本の溜池のなかには、大阪府の狭山池，兵庫県の天満大池，香川県の満濃池など 1000 年以上にわたって、地域によって維持管理され、地域の発展に寄与してきたものが少なくない。そして現在ならびに将来において、地域の農業だけでなく、環境や防災など多面的に地域の持続的な発展を支える重要な役割を果たすものとして考えられている。

全国を対象とした溜池地域の研究は、溜池研究の第一人者である故竹内常行氏によってなされている。竹内（1939a；1939b；1939c）では、全国の溜池地域を 44 地域で、竹内（1980）では 42 地域でもって¹⁾、それぞれにローカルレベルでの地域別考察を行っている（表 1）。本研究では、その研究から四半世紀以上を経過した今日、全国の溜池地域について、ローカルレベルで再考することをねらいとしている。

さて 2010 年 3 月に農林水産省は「ため池百選」を発表した。日本全国の 21 万の溜池から今日的意義をもつ溜池として、100 の溜池が選定された。全国の溜池地域の考察に先立って、「ため池百選」の溜池を対象とし、それら溜池を実際に見ること計画した。その過程で、溜池地域の詳細な考察を行うための分析視点や研究方法を模索することを目論んでいる。

「日本の溜池」と題する本稿は、①「ため池百選」事業ならびに選定溜池の分析と、②現地調査した溜池の報告の 2 つの柱で構成する。本号で①は、「ため池百選」の背景と選定過程を整理する。②は、2012 年度に調査した鳥取県、徳島県と香川県の 7 つの溜池を報告する。

2. 「ため池百選」の背景と選定過程

（1）背景

「ため池百選」は農林水産省農村振興局整備部防災課が中心となって行われた事業である。溜池について、農林水産省は次のような認識を示している（農林水産省ホームページ）。

全国に約 21 万あるため池の多くは長い歴史を有し、農業用水の水源として農業の礎（いしずえ）を担うとともに、地域の文化にも深く関わり、周辺の農地や里山と一体となって多様な生物の生育・生息の場となっています。また豊かな自然環境とのふれあい・やすらぎの場、さらには環境教育の場など、多様な役割も発揮できる場であり、地域振興の核となる可能性を秘めています。

表 1 竹内 (1939a, 1939b, 1939c, 1980) に示された日本の溜池地域

地方	竹内(1939a, 1939b, 1939c)	竹内(1980)	地方	竹内(1939a, 1939b, 1939c)	竹内(1980)
東北	1 津軽平野	1 津軽平野	近畿	23 琵琶湖南端沿岸地域	29 近江盆地
	2 青森平野			24 紀ノ川の谷	32 紀ノ川の谷
	3 大館盆地			25 大和盆地	30 奈良盆地
	4 鷹ノ巣盆地			26 大阪平野南部	31 大阪平野南部(付: 大阪平野北部)
	5 米代川下流地方	2 米代川流域		27 大阪平野北部	
	6 八郎潟沿岸地方	3 旧八郎潟沿岸地方と雄物川の横谷		28 摂丹山地南西部	
				29 加古川市川丘陵地	
	7 雄物川下流地方			30 加古川下流東部洪積台地	33 加古川・明石川間台地
	8 子吉川下流地方	5 子吉川, 芋川流域と鳥海山北部裾野地域		31 淡路島	34 淡路島
		4 横手盆地		32 両備断層山地	
	9 横手(大曲)盆地	6 庄内平野		33 中国山間諸盆地	35 誕生寺川上流地域
		7 塩野原野と泉田川沿岸低地		34 宍道地溝帯	
	10 山形並びに尾花沢盆地	8 山形盆地		35 厚狭, 吉敷丘陵地	36 油谷町北部の丘陵
	11 盛岡, 水沢盆地	9 米沢盆地			37 その他の近畿・中国の溜池地帯(摂丹山地南西部, 加古川・市川間丘陵地, 加古川中流左岸地域, 両備断層盆地, 中国山間諸盆地, 宍道地溝帯, 厚狭吉敷丘陵地)
	10 北上川河谷平野北部				
	11 豊沢・鍋割・台川流域				
	12 和賀川流域				
	13 胆沢川流域				
	14 猿ヶ石川下流丘陵地帯				
	15 岩手山麓と岩洞ダム				
	16 仙北平野				
	17 阿武隈山地東縁沿岸地帯				
	18 郡山, 白河盆地	18 郡山盆地と矢吹原	中国		
		20 那須野ヶ原と深山ダム	36 讃岐平野	38 香川県における灌漑状況	
関東	15 常陸台地	21 常陸台地	四国	37 宇和島北東部三間川の谷	39 愛媛県の諸地域(宇和島北東部三間川の谷, 松山平野, 高縄地塊周縁部)
	16 九十九里沿岸平野	22 九十九里沿岸平野		38 松山平野	
	17 高田平野と柏崎平野	19 高田平野と柏崎平野		39 高縄地塊周縁部	
				40 中津平野	40 豊崎, 中津平野
中部	18 上田盆地	23 上田盆地の塩田平	九州	41 国東半島	41 肥前半島西部及び生月島など
		24 御牧ヶ原台地		42 筑紫山地の陥没丘陵地帯	
	19 濃尾平野東部丘陵地	25 三方原台地		43 筑紫平野周縁	
		26 濃尾平野東部丘陵地と知多半島		44 日向海岸平野	42 その他の九州地方(国東半島, 筑紫山地の陥没丘陵地帯, 筑紫平野周縁, 日向海岸平野, 多良岳火山裾野地域, 雲仙岳火山裾野地域)
	20 知多半島				
		27 安城台地と豊田丘陵			
	21 伊勢平野	18 伊勢平野北部の台地			
	22 水口丘陵地および伊賀盆地				

出所) 竹内(1939a, 1939b, 1939c, 1980)をもとに筆者作成。

ここでは溜池を、農業の礎を担うもの、地域の文化に深く関わるもの、多様な生物の生育・生息の場、やすらぎの場、環境教育の場などと、一般に認識される農業用水としてだけでなく、それ以外の多面的機能の指摘がなされている。そして、そのような溜池を地域振興の核に位置づけて利活用していこうとするねらいが示されている。続いて、そのような可能性をもつ溜池をとりまく現状を次のようにまとめている(農林水産省ホームページ)。

農業者の減少・高齢化に伴い、従来のようなため池の維持管理が難しくなり、防災面での脆弱化や多様な役割の発揮が困難になることも懸念されています。

ここでは溜池管理組織や管理者の課題を指摘し、現状としては先に示した多面的な機能

の発揮はおろか、防災面で危険な状況を生み出していることへの懸念が示されている。溜池が有する多面的な機能と現状を踏まえて、『ため池百選』を選定し、地域にとっての資源であるため池が、地域活性化の核として保全・活用される取り組みの機運を醸成するとともに、ため池の有する多様な役割と保全の必要性について国民の皆様のご理解とご協力を頂くための契機」(農林水産省ホームページ)とするために、「ため池百選」の選定事業が実施するとしている。ここでも溜池の多面的な機能(役割)に触れ、単に農業施設としてではなく、地域にとっての資源(=地域資源)として位置づけるとともに、それを地域活性化の核として保全・活用するという方策が示されている。

なお農林水産省による農業関連施設の選定事業としては、「日本の棚田百選」(1999年度)や「疏水百選」(2005年度)がある。

(2) 選定過程

「ため池百選」の選定にあたって、2009年1月に選定委員会が設置された。選定委員会の委員は、「疏水百選」でも座長も務めた林良博東京大学大学院農学生命科学研究科教授(当時)を含め学識経験者が4名、アナウンサーなど報道関係者が4名、そして写真家1名の計9名である。学識経験者には、農学部系の研究者のほか、「日本のため池」(内田, 2003)や「ため池—その多面的機能と活用」(内田, 2008)の著書のある内田和子岡山大学大学院社会文化科学研究科教授(当時)を含んでいる²⁾。

選定委員会は、1年をかけて4回開催された。委員会と並行して、まず2009年4月から7月まで全国で百選の募集を行い、620地区の応募がなされた。次に620地区の中から一般投票の対象とするために一次選定287地区を選定し、2010年1月から2月に一次選定の溜池に対するインターネット等を用いた一般投票を実施している。投票結果に選定委員の評価を加えて、2010年3月の第4回選定委員会にて100の溜池を選定し、「ため池百選」の公表がなされた。

3. 溜池めぐり

(1) 狼谷溜池(鳥取県)

狼谷溜池は、大正期(1924年)に築造された溜池である。戦後の改修工事を経て、貯水量は132万ト、150haの受益地に農業用水を供給している鳥取県最大の溜池である。また貯められた水は農業用水としてだけでなく消防活動の水源としても利用されている。さらにB&G財団海洋センターが4月から9月に溜池を水上スポーツ場として活用している³⁾。池面に大山が逆さに映る風景が有名であり、大山池とも呼ばれている。

溜池周辺には散策道路や展望台が整備されている。2012年11月に現地を訪れた時には、写真を撮る人も見かけられた。残念ながら調査当日は、非灌漑期で貯水量も少なく、大山の映した景色を見ることはできなかった。溜池周辺には、天神野土地改良区が設置した「全国ため池百選に選ばれる」のパネルがある。また狼谷溜池の東約2.5kmのところ、狼谷溜池を水源とする1968年に設置された円筒分水の施設がある。

(2) 大成池(鳥取県)

大成池は、昭和期(1947年)に築造された溜池である。貯水量は1.2万トンであり、25haの水田を潤している⁴⁾。溜池は、大和ハウス工業が運営する「ロイヤルシティ大山リゾート」⁵⁾内にあり、大山を映す池面の風景は同リゾートの売りの一つである。

大成池の周辺には、ホテルや別荘が立地しており、大成池は観光客ならびに別荘住民の散策コースとなっている。そのため溜池ならびに周辺はきれいに整備されている。大成池

表2 調査溜池の諸元

溜池名	読み	都道府県 /市町村	位置 (度分秒)	標高 (m)	貯水量 (万m ³)	受益面積 (ha)	備考 (調査日等)
狼谷溜池	おおかみだ にためいけ	鳥取県 倉吉市	35° 22' 23.66"N 133° 43' 30.41"E	201	132.0	350	2012年11月30日 堤高：27.9m, 満水面積 15.1ha
大成池	おおなるい け	鳥取県 伯耆町	35° 23' 14.61"N 133° 28' 47.93"E	379	1.2	25	2012年11月30日 満水面積1.69ha
金清1号池・ 金清2号池	かねきよ1 ごういけ・ かねきよ2 ごういけ	徳島県 阿波市	34° 6' 40.53"N 134° 17' 34.59"E	145	11.5	100	2012年12月22日
豊稔池	ほうねんい け	香川県 観音寺市	34° 2' 29.88"N 133° 41' 4.40"E	197	159.3	630	2012年12月22日 堤高：30.4m, 堤長： 128.0m, 満水面積 15.5ha
満濃池	まんのうい け	香川県 まんのう町	34° 9' 53.26"N 133° 51' 56.30"E	147	1540.0	2964	2012年12月22日 堤高：32.34m, 満水面 積138.5ha
山大寺池	やまだいじ いけ	香川県 三木町	34° 14' 30.75"N 134° 8' 41.47"E	57	40.0	250	2012年12月23日
蛙子池	かえるごい け	香川県 土庄町	34° 30' 34.01"N 134° 15' 13.70"E	392	69.8	70	2012年12月23日 堤高：15.3m, 堤長： 420.0m, 満水面積8.5ha

出所) 位置と標高は堤体の地点データをGoogle Earthにより取得した。貯水量、満水面積は「ため池台帳」(農林水産省, 2002)による。備考の情報は、溜池周辺に設置されたパネルより取得した。

では、都市住民との交流を意図し、受益者である地元住民が主催する「ふれあい祭」が毎年春に開催されている。その記念の植樹の看板や「全国ため池百選 大成池」のパネルが設置されている。

(3) 金清1号池・金清2号池(徳島県)

金清1号池・2号池は大正期(1号池1913年, 2号池1914年)に築造された溜池である。貯水量11.5万トンを有し、受益地100haの農業用水として用いられている。白鳥が飛来する金清2号池は「白鳥池」とも呼ばれ、絶好の撮影ポイントとなっている。

金清2号池周辺は散策コースが設けられている。東屋やベンチも設置されており、白鳥などの水鳥をゆっくり観察できるよう配慮がなされている。また「金清耕地整備組合記念碑」, 「金清池土地改良区創立八十年記念碑」などの石碑があり、溜池と地域の歴史を知ることが出来る。金清1号池には、金清水利組合と金清地域資源保全隊が手作りで作った「全国ため池百選 金清一号池」のパネルが設置されている。

(4) 豊稔池(香川県)

豊稔池は、大正期の二度の大干ばつを契機に、昭和期(1929年)に完成した溜池である。堤体である豊稔池堰堤は、当時、最新技術であったマルチプルアーチ構造が採用され、洪水吐はサイフォン式が用いられている。堰堤は2006年に国の重要文化財に指定されている。貯水量は159.3万トンを有し、630haの農地を灌漑している。

溜池周辺には、1933年に設置された「豊稔池碑」のほか、豊稔池の概要を示したパネル2基(1基は香川県が設置)、香川県と豊稔池みずまし運動推進会議が設置した池周辺で見られる生物のパネル、観音寺市・観音寺市教育委員会が設置した「重要文化財豊稔池堰堤」

のパネルなどがある。旧土砂吐樋門や旧中樋取水口の展示もなされ、遊水公園として整備がなされている。

(5) 満濃池（香川県）

満濃池は、白鳳時代の大宝年間（701-704年）に築造されたとされる溜池である。貯水量は1540万トンであり、丸亀平野2964haの田畑を潤す日本最大級の溜池である。築造後は何度も決壊し、改修工事が繰り返し行われてきた。奈良時代に空海が改修工事にかかわったことで知られている。

池畔に東屋があり、東屋周辺には1931年に満濃池普通水利組合が設置した記念碑のほか、満濃町が設置した「満濃池略史」（2001年設置）のなど碑がある。また満濃池近くの高台にあり満濃池の守護神が奉斎されている神野神社からは、満濃池を一望できる。高さの30mを超える堤体には遊歩道が設置されている。また周辺の道路には「日本一のため池満濃池」と書いた誘導看板がみられた。

(6) 山大寺池（香川県）

山大寺池は、江戸時代（1627年）に築造された溜池である。現在の貯水量は40万トンであり、250haの受益地を有する。B&G財団⁶⁾の海洋センターによって5月から10月の間はカヌーやヨットなどの舟艇の貸し出しがあり、溜池での水上スポーツが楽しめる。

堤防上には、ベンチや滑り台などの遊具施設が設置されている。また「県営山大寺池改修工事記念碑」（1991年設置）、「国営山大寺池改修工事記念碑」（2004年設置）のほか、水土里ネット山大寺が設置した「全国ため池百選の記念碑」（2010年設置）の石碑が設置されている。

(7) 蛙子池（香川県）

蛙子池は、江戸時代（1686年）に造られた溜池である。貯水量は69.8万トンで、70haを灌漑する小豆島最大の溜池である⁷⁾。

三百年記念碑や改修記念碑のほか、「農林水産省選定ため池百選 蛙子池」（2010年設置）が設置されている。

4. おわりに

農林水産省ホームページには、「ため池百選」それぞれの溜池の紹介があり、農林水産省が作成した「ため池百選－地域活性化の核として保全・活用される取り組みのために」のパンフレットにも溜池ごとの紹介がなされている。また野田（2010）でも、いくつかの「ため池百選」の紹介がなされている。現地には、それらの情報に加えて、ため池台帳のデータを携えて訪れた。今回訪問した7つの溜池のうち、狼谷溜池と山大寺池はB&G財団による溜池の水上スポーツ場としての活用を受け入れており、大成池ではリゾート開発とのタイアップがなされていた。このように外部の資本等を活用した事例が多く含まれていることが注目された。「ため池百選」の事業は野田（2010）でも述べられているように、溜池の地域資源としての保全・活用が鍵といえる。そのためには、農家はもとより地域住民に、それぞれの溜池が「ため池百選」に選定された溜池であるという認知が重要であると考える。今回の調査では、とくにその認知を促すパネルや記念碑の設置に注目してみた。すでに全国的に有名な満濃池や豊稔池では「ため池百選」にかかわるパネル等は確認できなかった⁸⁾。その一方で、狼谷溜池、大成池、金清1号池・2号池、山大寺池、蛙子池では、「ため池百選」のパネルの設置がなされていた。その内容も、狼谷溜池は認定書の写真を入れたり、山大寺池では石碑であったり、金清1号池・2号池では手作りのパネルとそ

れぞれに工夫がみられた。

農林水産省による農業関連施設の選定事業に、「日本の棚田百選」（1999年度）と「疏水百選」（2005年度）があることを先に指摘した。「日本の棚田百選」の棚田を紹介したものとして中島（2004；2006；2012）があり、「疏水百選」を紹介する林（2007）がある。

中島（2004；2006；2012）では、多くの人に棚田に関心をもってもらい、支援の輪が広がることを目的とし、単に景観的な記載を行うだけでなく、行政担当者や地元農家の方たちから維持管理の苦労や取組のむつかしさの聞取りを行い、その実態を紹介している。また関心を持った人が現地を訪ねる際の案内書として役立つように配慮がなされている（中島 2004, i）。

一方、林（2007）では、歴史学や地理学などの専門家の執筆ではなく、農林水産省の担当者による執筆である。全国から提供された資料や情報をもとに、全国を横断し、歴史を縦断して疏水を語り、解説がなされている（林 2007, pp.247-248）。

次号以降では、これらの先行事例を参考に記述の方法についても改善を図りたい。

本研究は、文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C)「溜池を軸とする持続的な地域づくりと溜池学の創造」（研究代表者：南埜 猛，課題番号 24520889）による研究成果の一部である。

注

- 1) 竹内（1939a；1939b；1939c）と竹内（1980）を比べると、竹内（1980）では設定されている地域の数が減っている。ただし、竹内（1980）では、近畿・中国ならびに九州地方においては竹内（1939a；1939b；1939c）で設定した複数の地域をその他としてまとめている。また地域の設定の仕方も異なるので、両者の数の上での単純な比較はできない。
- 2) 委員は、青山成康（石川県立大学生物資源環境学部教授）、内田和子（岡山大学大学院社会文化科学研究科教授）、桜井洋子（NHKアナウンス室専門委員）、目光紀（全国地方新聞社連合会副会長）、英伸三（写真家）、林良博（東京大学大学院農学生命科学研究科教授（座長））、平野啓子（語り部、大阪芸術大学芸術学部教授、元アナウンサー）、鷺谷いづみ（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）の9名である。なお、所属等は当時のものである。
- 3) B & G 財団はブルーシー・アンド・グリーンランド財団の略称で、日本の青い海と豊かな大地を活動の場所として、海洋性レクリエーション等の実践活動を通じ、青少年の心と体を健やかに育み、地域住民の健康づくりに貢献することを目的としている。同財団の運営資金は競艇の収益金である。B & G 財団海洋センターによる溜池の活用については、内田（2008, pp.155-166）に詳しい。
- 4) 設置されているパネルでは、貯水量 3.67 万トン、受益面積は 26ha である。
- 5) 大和ハウス工業ホームページを参照のこと。
- 6) 注 6 を参照のこと。
- 7) 設置されているパネルでは、貯水量 63.4 万トン、受益面積は 123.6ha である。
- 8) 溜池周辺をまわって、確認作業を行なった結果である。関係団体（たとえば土地改良区）の事務所など溜池から離れた場所に設置されている場合もあると考えられる。今後は、事前に関係団体に連絡をとって、パネル等の設置の有無を確認のうえ現地調査を行うことにする。

引用文献

- 内田和子（2003）：『日本のため池 防災と環境保全』，海青社，270p.
内田和子（2008）：『ため池—その多面的機能と活用—』，農林統計協会，171p.
竹内常行（1939a）：溜池の分布について（1），地理学評論 15-4，pp.283-300.
竹内常行（1939b）：溜池の分布について（2），地理学評論 15-5，pp.319-342.

- 竹内常行 (1939c) : 溜池の分布について (3). 地理学評論 15-6, pp.444-457.
- 竹内常行 (1980) : 『日本の稲作発展の基盤—溜池と揚水機—』, 古今書院 452p.
- 中島峰広 (2004) : 『百選の棚田を歩く』, 古今書院, 228p.
- 中島峰広 (2006) : 『続・百選の棚田を歩く』, 古今書院, 291p.
- 中島峰広 (2012) : 『棚田 その守り人』, 古今書院, 250p.
- 農林水産省 (2002) : 『ため池台帳 —長期要防災事業調査』
- 野田英亨 (2010) : ため池百選の選定について—ため池を地域資源として保全・活用するために—,
土地改良 270号, pp.10-15.
- 林良博 監修 (2007) : 『心やすらぐ日本の風景 疏水百選』 PHP 研究所, 256p.

引用 URL

- 農林水産省 : ため池百選. <http://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/tameike/> (2014年1月30日アクセス)。
- 大和ハウス工業 : ロイヤルシティ大山リゾート.
http://www.daiwahouse.co.jp/shinrin/daisen/index.html?adw=shinrin_012 (2014年1月30日アクセス)

Tanks in Japan I

MINAMINO Takeshi

Key Words: tank, selected 100 tanks, regional resources, sustainable development, Japan